

**株式会社SBI証券及び株式会社SBIネオモバイル証券との
業務提携の解消において、高い関心が予想される事項**

Q1. 業務提携を解消するパートナー企業と対象サービスは？

株式会社SBI証券と株式会社SBIネオモバイル証券の2社（以下、「当該2社」という）です。
対象サービスは、「WealthNavi for SBI証券」及び「WealthNavi for ネオモバ」の2サービス（以下、「当該2サービス」という）です。

Q2. 業務提携解消に至った経緯は？

当該2社より業務提携解消に向けた協議の申し入れがありました。その後、本日（9月30日）業務提携解消に関する通知書を受領し、当社取締役会で業務提携解消を決議いたしました。

Q3. 業務提携解消後、当該2サービスをご利用中のお客様及び預かり資産の取り扱いはどうなるのか？

適用法令等及び当社と当該2社との業務提携契約に基づき、お客様及び預かり資産は、当社のダイレクト事業に引き継がれます。

Q4. 既存の提携パートナーに影響はあるのか？

既存の提携パートナーに影響はなく、引き続き関係性を強化していく方針です。
なお、住信SBIネット銀行株式会社との業務提携は継続します。

Q5. 新規の提携パートナー開拓に向けた方針に変更はあるか？

変更はありません。提携パートナー事業はこれまで通り強化を進める方針です。

Q6. 今期業績予想への影響は？

■営業収益

当該2サービスをご利用中のお客様及び預かり資産は、当社のダイレクト事業に引き継がれるため、今期営業収益への貢献は変わりません。

業務提携を解消した後は、当該2社を経由した新規のお客様の獲得は見込めませんが、業務提携解消日が2022年11月4日（予定）であることから、新規顧客獲得減少による今期業績への影響は軽微です。また、後述のこれまで当該2社に支払っていたレベニューシェアの一部を、新規のお客様獲得のための広告宣伝に充当する方針です。

なお、当該2社を経由したお客様増加数の割合は、2022年12月期第1～第2四半期累計期間で10.4%です。

■営業損益

営業収益予想は変わらない一方、当該2社へのレベニューシェアの支払いがなくなるため、営業損益は改善する見込みです。

なお、当該2社へのレベニューシェア支払額は、2022年12月期第1～第2四半期累計期間で235百万円でした。

Q7. 当該2社との業務提携解消による今後の事業成長への影響とその対策は？

前述の通り、業務提携の解消後、当該2サービスのお客様及び預かり資産は、当社のダイレクト事業に引き継がれます。一方で、当該2社を経由した新規のお客様の獲得は見込めなくなり、また、当該2社の知名度や信用力によりサービスの利用をして下さっていたお客様が解約される可能性も考えられます。

今後当社は、新規のお客様獲得に向けて、当該2社以外の提携パートナー事業の強化、及び新規提携パートナーの開拓に引き続き取り組みます。また、広告宣伝を中心とする積極的な成長投資を継続し、ダイレクト事業の成長にも一層注力します。

加えて、当該2サービスをご利用中のお客様が当社のダイレクト事業に引き継がれたあとも、安心して当社サービスを継続利用頂けるよう、積極的にサポートします。当該2サービスでは適用対象とならなかった「長期割」についても、判定基準における利用継続期間を遡及適用したうえでご利用頂けるよう、準備を進めております。

以 上

【免責事項】

本資料は、当社の企業情報等の提供のために作成されたものであり、国内外を問わず、当社の発行する株式その他の有価証券の勧誘を構成するものではありません。

また、本資料は、発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれている場合がありますが、これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社として、その達成を約束するものではありません。当該予想と実際の業績の間には、経済状況の変化やお客様のニーズ及び嗜好の変化、他社との競合、法規制の変更等、今後のさまざまな要因によって、大きく差異が発生する可能性があります。

なお、本資料に記載されている当社以外の企業等に関する情報は、公開情報または第三者が作成したデータ等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について、当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。